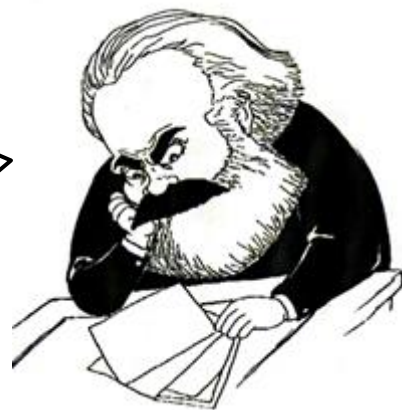


初学者大歓迎！

何事も最初が肝心。  
この機会と一緒に学  
びましょう！

価値形態の発展の背景には、商品交換のひろがり(交換関係の発展)があるのじゃ。



6月10日(土)午後6時から9時まで

西池袋第二区集会室 (豊島区西池袋3-8-20) JR池袋駅西口から徒歩12分

## 【範囲】第1章「商品」第3節「価値形態または交換価値」

「C一般的な価値形態」の「2相対的価値形態と等価形態との発展関係」「一般的価値形態から貨幣形態への移行」および「D貨幣形態」

●東京・池袋『資本論』を読む会は十数年もの活動歴のある学習サークルです。昨年末に『資本論』第1巻の学習会を始め、現在、第1篇「商品と貨幣」の第1章「商品」を読み進めています。『資本論』を学びたいという人は誰でも自由に参加できます。

●前回(5月14日)は第3節「価値形態または交換価値」の「B全体的な、展開された価値形態(形態II)」と「C一般的な価値形態(形態III)」の前半を学びました。

私たちは「A単純な価値形態(形態I)」の詳しい考察によって、価値表現のメカニズムを知りました。簡単な価値形態は対一の商品関係であり、ただ一つの商品種類を価値鏡にするだけですが、形態IIは20エシのリンネル=10ポンドの茶、または=1クォーターの小麦という具合に、一種類の商品価値を様々な商品種類によって表現しています。さらに形態IIIは、10ポンドの茶=20エシのリンネル、または1クォーターの小麦=20エシのリンネルという具合に、あらゆる種類の商品価値をただ一つの商品種類によって表現しています。形態Iから形態IIへの、そして形態IIから形態IIIへの移行をもたらす要因は何でしょうか？商品の交換関係の発展こそ高次元の価値形態への移行を促すのであり、それは諸商品が価値概念にふさわしい価値形態を獲得する過程でもあります。「商品形態の発展は価値形態の発展に一致」するので。次回学習会で貨幣形態に到達します。乞うご期待！

学習会はまだ始まったばかり。この機会と一緒に『資本論』を学びませんか。

参加される方は『資本論』をご用意ください(出版社は問いません)

●会のサイト <ホームページ> <http://study-capital.la.cocacn.jp>

<ブログ> [http://blogs.yahoo.co.jp/mmasa\\_ka](http://blogs.yahoo.co.jp/mmasa_ka)

連絡・問い合わせ ➡ 080(3555)2421(もり) 03(6767)2869(さかい)